

2014年3月17日

株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 12-5 小伝馬町YSビル
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>
 広報部 03-3664-5697

訴求効能別、注目成分別、コンセプト別など

国内H・Bフーズ市場を総括分析

— 2013年(見込)の訴求効能別注目市場 —

美肌効果・・・プラセンタ配合商品の好調で前年比7.1%増の1,254億円
 免疫賦活作用・・・「明治ヨーグルトR-1」(明治)が市場拡大をけん引し、
 前年比22.5%増の625億円

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 阿部 界 (03-3664-5811))は、健康(Health)や美容(Beauty)に良いというコンセプトの食品(以下、H・Bフーズ)を明らか食品やドリンク類の健康志向食品と、健康食品やシリーズサプリメントの機能志向食品に分け市場を調査し、それぞれ報告書「H・Bフーズマーケティング便覧 2014 No. 1 健康志向食品編」「同 No. 2 機能志向食品編」にまとめた。そして2013年12月から2014年2月にかけて、「健康志向食品編」と「機能志向食品編」を総括分析した。その結果を「H・Bフーズマーケティング便覧 2014 No. 3 総括編」にまとめた。

この報告書では、領域・訴求効能別、注目成分やコンセプト別のH・Bフーズの市場動向をはじめ、チャネル別販売動向、特定保健用食品とシリーズサプリメントの市場動向をまとめ、2013年のH・Bフーズ市場を総括分析した。また、主要・注目企業の動向を事例分析した。

<訴求効能別注目市場>

■美肌効果

2013年見込	前年比	2014年予測	前年比
1,254億円	107.1%	1,295億円	103.3%

2013年の美肌効果を訴求するH・Bフーズ市場は、前年比7.1%増の1,254億円が見込まれる。

健康志向食品ではコラーゲンで主力のドリンク類の需要に一巡感が見られるものの、エーザイややずやがジュレ飲料やスティックゼリータイプの新商品投入を行ったほか、通販チャネルでのプラセンタ商品が好調で、市場は引き続き拡大する。

機能志向食品では主力のヒアルロン酸、コラーゲン商品の伸びが鈍化したが、プラセンタ商品については主力企業の協和、R&Yが積極的なプロモーション展開を行ったことから好調な伸びを示し、市場は800億円規模に達する。

■免疫賦活作用

2013年見込	前年比	2014年予測	前年比
625億円	122.5%	664億円	106.2%

2013年の免疫賦活作用を訴求するH・Bフーズ市場は、前年比22.5%増の625億円が見込まれる。

健康志向食品では、2012年に「明治ヨーグルトR-1」(明治)の有効性がマスメディアに取り上げられ市場が活況を呈し、2013年には明治の生産体制が整ったことで引き続き市場拡大をけん引した。

機能志向食品では、カルピス、サントリーウエルネスなど乳酸菌商品の好調が続いたが、プロポリスや茸素材商品はマイナスとなり、トータルでは僅かに縮小する。

■滋養・強壮

2013年見込	前年比	2014年予測	前年比
2,391億円	104.4%	2,398億円	100.3%

2013年の滋養・強壮を訴求するH・Bフーズ市場は、前年比4.4%増の2,391億円が見込まれる。

機能志向食品では、オタネニンジン商品は好調であるが、ローヤルゼリーやニンニクを主成分とする上位商品は横ばいとなっている。一方、健康志向食品のドリンク類では、“エナジードリンク”の海外ブランドが相次いで投入されて活況を呈しており、市場拡大を後押ししている。“エナジードリンク”については新フレーバー投入による需要喚起が継続して行われているものの、成長率は鈍化している。

<調査対象>

2013年市場の総括	2013年市場のトピックス、H・Bフーズ市場動向
特定保健用食品の市場動向、シリーズサプリメントの市場動向	
注目成分市場動向	乳酸菌類、プラセンタ
コンセプト別市場動向	ビタミン市場、美容市場、アンチエイジング市場、メタボリック関連市場、ロコモ対応市場
領域・訴求効能別市場動向	滋養・強壮市場、肝機能改善市場、美肌効果市場、整腸効果市場、ダイエット市場、生活習慣病予防市場、血行促進市場、免疫賦活作用市場、栄養バランス市場、骨・関節サポート市場、覚醒効果市場、貧血予防・改善市場、喉の不快感除去市場、虫歯予防市場、エチケット市場、アイケア市場、マルチバランス市場、ホルモンバランス市場、リラックス市場、グリーンチャージ市場
チャネル別販売動向	通信販売、訪問販売、薬局・薬店、量販店、CVS
主要・注目企業の動向	明治、サントリー食品インターナショナル、大塚グループ、アサヒグループ、キリングroup、味の素、小林製薬、資生堂グループ、ディーエイチシー、ファンケル、サントリーウエルネス、えがお、協和、ライオン、フォーデイズ、ニュースキン ジャパン、ポーラ
新商品投入状況、広告宣伝活動展開状況、キャンペーン展開状況	

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業、関連企業等へのヒアリング調査を主体に各種公的データも参考

<調査期間>

2013年12月～2014年2月

以上

資料タイトル	「H・Bフーズマーケティング便覧2014 No. 3 総括編」
体裁	A4判 262頁
価格	書籍版 100,000円＋税 PDF／データ版 110,000円＋税 書籍版＋PDF／データ版セット 120,000円＋税
調査・編集	株式会社 富士経済 東京マーケティング本部 第一統括部 第二部 TEL:03-3664-5821(代) FAX:03-3661-9514
発行所	株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル TEL:03-3664-5811(代) FAX:03-3661-0165 e-mail:info@fuji-keizai.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL: http://www.group.fuji-keizai.co.jp/ https://www.fuji-keizai.co.jp/